



悟： 人々のホルモンが強過ぎるとき、全くのナンセンスがどうしても重要な見えることができるかは、驚くべきものです。

玲亜： ええ。願望は、自身の論理がある言語です。

ティン： 私はその言語が以前流暢でした。しかしながら、最近人々を見る
とき、唯一の細い私が、見ます。火葬用のまきの山に向かう死体を
腐らせています。

玲亜： あなたは、年をとっているか、またはあまりに多くの哲学を読ん
でいます。

- T Newfields (和訳：榎谷メリッサ)

開始：1998年 静岡市 ・ 完成：2012年 東京都

